

コガタノゲンゴロウ



環境省指定絶滅危惧 I 類(CR+EN)
西伯地区にて

(撮影：桐原佳介)

■採集したら罰金50万円

私が南部町で初めて出会った生き物の一つに、コガタノゲンゴロウという虫がいます。大きさは24〜29ミリ程で、町が誇る貴重な甲虫です。ゲンゴロウと似た姿ですが、一回り小さくてお腹が黒いことが特徴です。今日、ゲンゴロウの仲間の多くが絶滅危惧種とされています。中でもコガタノゲンゴロウは、県条例で採集が禁止され、違反した場合には罰金50万円という罰則まであります。

■スルメで釣れた！

とあるため池で、ザリガニ釣りイベントをしていた時のことです。参加者の1人が、コガタノゲンゴロウを釣り上げ、大変驚きました。そこで、他の場所でも同じようにスルメを付けた糸を垂らしてみたら、コガタノゲンゴロウの他にも、クロゲンゴロウ、コシマゲンゴロウなどのゲンゴロウたちが集まってきました。ゲンゴロウの仲間もザリガニと同様、スルメが好物のようです。

■ゲンゴロウに必要なもの

コガタノゲンゴロウは、池や沼、湿地帯などに住んでいます。しか

し、錦鯉やアメリカザリガニが生息しているところでは、水辺の小動物や水草が食い尽くされてしまします。コガタノゲンゴロウは、他の水辺の生き物たちが豊かでないと生息できません。餌となるトンボのヤゴやおたまじゃくし、小魚やエビの仲間が沢山いること、そして、隠れ家や産卵場所となるヒルムシロやジュンサイなどの水草があることが必要不可欠です。今では、そのようなため池は全国的にも珍しいものとなっています。

■迷ったら調べよう！

子どもが捕まえたゲンゴロウが、何ゲンゴロウか分からない、もししたら罰金を取られるかも、と迷うことがありましたら、インターネットの検索で調べてみましょう。また図書館の図鑑などを使って、大きさと背中側・腹側の色を比べてみましょう。南部町では、まだまだ調査が進んでいないので、もしかしたら、あなたが見つけたゲンゴロウの仲間が、町内初記録になるかもしれませんよ。

自然観察指導員 桐原真希